

教育な が れ や ま

第 90 号
編集発行 流山市教育委員会
TEL 04 (7158) 1111



ことばの持つ重み



流山市教育委員会教育長 田中 弘美

「言葉は誰かを傷つけるためではなく、誰かを守り、誰かとつながるためにある」

(『舟を編む』NHKドラマ 原作：三浦しをん)

現代社会は、SNS時代とも言われ、自分が考えていること、感じたことを気軽に発信できる便利な時代である一方、自分が意図したこととは違う受け止め方をされたり、場合によっては誰かを傷つけてしまったりすることもあります。そして、ネット空間では見も知らぬ同士で非難の応酬も簡単に起こりうるという大変怖い時代になった、とも言えます。

SNSを利用する機会が増えても、習得した知識やスキル(インプット)をきちんと表現したりすること(アウトプット)できていないこともその一因だと思います。

本来、しっかりと文章を読んで、どのように言葉が使われ、表現されているかを理解したうえで用いていけば良いのですが、なかなか難しいようです。やはり、書くことや発信することだけに執着するのではなく、新聞を読んだり、読書をしたり、あるいはニュースを見たり聞いたりすることを通して、言葉の使い方や表現方法について考え、言葉の持つ重みを知ることが可能になるのではないのでしょうか。

そして、しっかりと言語化することで、他者への共感や想像力も生まれてくるのではないかと思います。

冒頭で紹介した言葉は、社会情勢がどんどん変化し、次々と多くの言葉が生まれている昨今、言葉というものが、人間にとってどんな働きをしているか、また人間関係にどんな影響を与えているかを改めて考える機会を与えてくれました。(「素敵なドラマでした」)

学校教育においては、「主体的な学び」、「探究学習」の重要性が問われています。

タブレット端末を活用することで、調べ学習が容易になり、また、プレゼンテーションの機会なども増えてきました。暗記力や知識量の多さだけではなく、調べたことや自分の考えや意見を他者にわかりやすく、正しく伝えていく力が、現在ではもっとも必要とされる力になっています。互いに感じたことを伝え合い、表現し、双方向的なコミュニケーション力をつけるためにも、「言葉を知り、意味をわかり、使いこなしていくこと」を目指した指導を大切にしなければいけないと痛感しています。

小学校の国語の授業において、「言葉」に着目し、「言葉」が持つ役割や働きに改めて気づくことで、子どもたちは自覚的に言葉を用いる、として、語句や語彙を豊かにし、読み聞かせや読書指導、言葉遊びなど様々な方法で、言葉への関心を高める試みがされています。また、母国語でも外国語でも、言葉を学んでいく際には、言葉の意味を「面」として理解するという新たな視点を持つことも必要です。

学校や家庭・地域で、子どもたちが自らの感情を豊かに表現し、適切な言葉遣いを心がけ、コミュニケーションを円滑に取れるような言語教育、言語環境の整備に努めていくことが大切な時代であると改めて感じます。

流山市の相談機関

流山市の相談機関を紹介します。相談窓口は複数ありますので、内容によって相談先をご検討ください。

流山小中学生専用なやみホットライン

☎ 04-7150-8055 13:00 ~ 21:00
中学生はアプリからも相談できます。
・いじめ、学校生活、友達について

教育相談室

(流山市教育委員会指導課 教育研究企画室)
☎ 04-7150-8390 9:00 ~ 16:30
・小中学生の不登校、学校生活について

いじめ防止相談対策室

(流山市教育委員会指導課)
☎ 04-7157-1683 9:00 ~ 16:00
・いじめ、虐待について



家庭児童相談室

(子ども家庭課)
☎ 04-7158-4144 9:00 ~ 17:00
・子どもや家庭、子育てについて

就学相談室

(流山市教育委員会指導課 教育研究企画室)
☎ 04-7150-8388 9:00 ~ 16:30
・個別の支援が必要な子どもの就学先について

青少年指導センター相談室

(流山市教育委員会文化芸術・生涯学習課)
☎ 04-7158-7830 9:30 ~ 16:30
・概ね、20歳までの青少年とそご家族等

「心の天気とは？」

流山市では、1人1台タブレット端末を活用して、「心の天気」を導入しています。これは児童生徒の心や体調の変化を早期発見、対応できるように心の健康観察として使用するものです。

「心の天気」は、朝や夕方に児童生徒がその時の心の様子を4つの天気（☀️☁️☔️⚡️）から選んで入力し、気持ちを天気として可視化するシステムです。入力した天気は振り返り機能を利用することで、児童生徒自身が客観的に振り返ることが出来ます。また、天気他にコメントも入力することができ、児童生徒と担任のコミュニケーションツールともなっています。

「心の天気」は複数の職員で確認することができ、担任だけでなくチームで児童生徒の小さな変化を把握することが可能です。「心の天気」を活用し、児童生徒の心に寄り沿った支援指導につなげていきます。

実践例として、流山北小学校の「心の天気」についてご紹介します。

流山北小学校では、登校後や朝の会の時間に、児童がそれぞれのタブレット端末で「心の天気」を入力します。入力した「心の天気」は、学級担任だけでなく、校長や教頭、養護教諭など、複数の職員で確認ができるようになっていました。複数の職員が確認することで、児童の心の変化をきめ細かくチェックすることができ、これまでも児童の悩みに素早く対応できたケースがありました。

また、対面でのコミュニケーションに少し苦手意識がある児童でも、「心の天気」を用いて気軽に自分の気持ちを表現することが可能となっており、天気の変化や、コメントをもとに、担任と児童が話をするきっかけの1つにもなっています。

今後も、「心の天気」を活用することで、児童が「明日も学校に来たい」と思えるような、学校づくりをめざしていきます。



第72回流山市小学校陸上競技大会

5月15日(水)県立柏の葉公園総合競技場で、第72回流山市小学校陸上競技大会が行われました。大会には市内の小学校、18校が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、選手達の一生懸命な姿と温かい応援により、大会は大いに盛り上がりました。大会結果は以下のとおりです。

【総合結果】

	優勝	準優勝	3位
男女総合	小山小学校	南流山小学校	向小金小学校
男子	南流山小学校	小山小学校	おたかの森小学校
女子	小山小学校	向小金小学校	新川小学校

